

第33回(2021年度)

名古屋大学宇宙地球環境研究所年代測定研究シンポジウム

プログラム

令和4年1月21日(金) オンライン開催

<https://us02web.zoom.us/j/82678450733?pwd=R0VuWXhPSzZEOW5LbGxEVWdnTmxsZz09>

ミーティング ID: 826 7845 0733

パスコード: 412036

13:00 – 13:05 開会の挨拶

一般講演 セッション1 (座長:北川浩之)

13:05 – 13:25 三角州堆積物への OSL 年代測定適用性の検証

田村 亨(産総研)・北川浩之(名大・ISEE)

13:25 – 13:45 名古屋港海底泥中に見つかる炭酸塩コンクリーションの形成年代

隈 隆成(名大・ISEE)・浅井沙紀(名大・院・環境)・吉田英一(名大・博物館)・南 雅代(名大字地研)

13:45 – 14:05 菊川周辺における放射性炭素の海洋リザーバー効果の予察結果

中西利典(ふじのくに地球環境史ミュージアム)・松多信尚(岡山大)・堀 和明(東北大)・稲崎富士(産総研)・北村晃寿(静岡大)・北川浩之(名大・ISEE)

14:05 – 14:25 土壌資料の Sr 同位体分析より推定する立部遺跡火葬墓 ST2005 の成り立ち

若木重行(JAMSTEC 高知コア研)・南 雅代(名大・ISEE)・佐藤亜聖(滋賀県立大)・榎木規秀(松原市)

14:25 – 14:30 -----休憩-----

一般講演 セッション2 (座長:加藤丈典)

14:30 – 14:50 沈み込み初期における北西インド Nidar オフィオライト層火成岩類の成因

佐藤成修・今山武志(岡山理科大)・Dutta Dripta (インド工科大学ボンベイ校)・金田泰明・渡部将太・長谷川 健(茨城大)・南 雅代・若杉勇輝(名大・ISEE)・若木重行(JAMSTEC 高知コア研)

14:50 – 15:10 ^{14}C と有機成分をトレーサーとして用いた炭素質エアロゾルの発生起源解析

池盛文数(名古屋市環境科学調査センター)・中村俊夫(名大・名誉教授)・南 雅代(名大・ISEE)

- 15:10 – 15:30 **日高山脈東側の 2000 年前以降の花粉相の推移と特徴**
星野フサ (北大・総合博物館)・春木雅寛 (北大・総合博物館)・藤山広武 (十勝の自然史研究会)・南 雅代 (名大・ISEE)・中村俊夫 (名大・名誉教授)・田中 剛 (名大・名誉教授)
- 15:30 – 15:50 **小惑星リュウグウのテクニクス最若年代を示すグループマーク**
田中 剛 (名大・名誉教授)
- 15:50 – 16:10 **トリプル四重極質量分析装置を用いた $^{87}\text{Sr}/^{86}\text{Sr}$ 同位体分析の現状について**
森本貴裕・谷水雅治 (関西学院大)
- 16:10 – 16:15 -----休憩-----
- 施設報告** (座長: 隈 隆成)
- 16:15 – 16:30 **名古屋大学タンデトロン AMS ^{14}C システムの現状と利用 (2021)**
北川浩之・南 雅代 (名大・ISEE)・酢屋徳啓 (SVE)・池田晃子・隈 隆成・山根雅子・西田真砂美 (名大・ISEE)
- 16:30 – 16:45 **CHIME の現状と利用 (2021)**
加藤丈典 (名大・ISEE)
- 16:45 – 16:55 総合討論-今後の共同利用・共同研究について-
 司会 南 雅代 (名大・ISEE)
- 16:55 – 17:00 **閉会の挨拶**